



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長谷川 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 吉田 智哉

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,555	9.6	328	31.3	315	34.2	138	47.6
27年3月期第1四半期	4,156	13.2	250	△22.8	234	△24.5	94	△30.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 202百万円 (38.9%) 27年3月期第1四半期 145百万円 (△15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.36	—
27年3月期第1四半期	3.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	19,870	6,513	26.1	200.48
27年3月期	20,288	6,349	25.1	196.70

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,187百万円 27年3月期 5,090百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	1.30	—	1.50	2.80
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	1.50	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,205	9.7	775	24.1	738	24.7	322	36.0	12.44
通期	18,889	5.0	1,734	8.7	1,660	8.5	703	13.0	27.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	28,150,000 株	27年3月期	28,150,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,273,100 株	27年3月期	2,273,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	25,876,900 株	27年3月期1Q	25,876,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から雇用情勢の改善をはじめとした緩やかな景気回復基調で推移していましたが、ギリシャ債務危機、中国経済の動向など、先行きが不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高4,555百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益328百万円(前年同期比31.3%増)、経常利益315百万円(前年同期比34.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益138百万円(前年同期比47.6%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、円安の進行等により中古車輸出に注目が集まり業者数が増加し競争が激化しているなか、海外の旺盛な需要により平成27年1-6月期における輸出台数は63.5万台(前年同期比1.2%増)と好調に推移いたしました。

このような状況で、各地域における低価格車輻の競争激化等により当社グループの輸出台数は1,689台(前年同期比25.9%減)となったものの、高額車輻を取扱う現地販売業者との取引強化により高額車輻の販売台数が増加し、販売単価は上昇いたしました。また、円安の影響等により、低価格車輻の収益性が向上し、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

また、アフリカ地域においてカスタマーサポートセンターでの対面販売やアフターサービスを強化し、その他地域においても現地販売エージェントとの提携を推進することにより、現地における販売網の拡大及び顧客満足度の向上を図ることができました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,980百万円(前年同期比13.3%増)、営業利益98百万円(前年同期比93.5%増)となりました。

#### ② レンタカー事業

レンタカー業界においては、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、継続的に直営・F Cの空白地域への新規出店を推進し、様々な施策により新規出店店舗の早期黒字化を目指しております。また、TVCMの継続的な放映、顧客満足度向上策の実施、好立地への移転等により個人顧客への販売強化に注力いたしました。当期において直営店の飯田店(長野県)を新規出店しましたが、店舗統合等による減少もあり、直営店及びF C店の総店舗数は118店、総保有台数は12,735台(前年同期比2.8%増)となりました。さらに、レンタル終了車輻の販売台数は420台(前年同期比24.6%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,786百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益221百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

#### ③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国の自動車業界においては、ランド安による小売価格の上昇、電力供給の制約等により経済が低迷し、平成27年1-6月期の新車販売台数は30.2万台(前年同期比1.9%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国で、スズキディーラー3店舗、プジョーディーラー1店舗、フィアット・アルファロメオディーラー1店舗の合計5店舗を運営しており、新車販売のみに頼らない収益構造を構築すべく、継続的に中古車・サービス部門で経営改善を行い、収益力向上に取り組んでおります。

新車販売台数は合計185台(前年同期比16.7%減、内訳：プジョー16台(23.8%減)、フィアット・アルファロメオ6台(33.3%減)、スズキ163台(15.1%減))、中古車販売台数は合計341台(前年同期比1.5%増)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高875百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益9百万円(前年同期比33.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、10,706百万円となりました。これは現金及び預金が196百万円、リース債権及びリース投資資産が109百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、9,164百万円となりました。これはリース資産(純額)が213百万円減少したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、19,870百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、10,789百万円となりました。これはリース債務が222百万円、未払法人税等が189百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.9%減少し、2,568百万円となりました。これはリース債務が131百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、6,513百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ196百万円減少し、618百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、営業活動の結果獲得した資金は907百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益315百万円、減価償却費583百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は290百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出283百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は813百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出691百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、7月に直営店の鈴鹿店(三重県)、FC店の高知店(高知県)、平泉店(岩手県)に新規出店いたしました。今後も既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、引き続き既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成27年5月7日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	814,962	618,340
受取手形及び売掛金	1,067,701	1,009,701
リース債権及びリース投資資産	6,289,561	6,180,003
商品及び製品	1,945,976	2,059,157
仕掛品	1,940	1,455
原材料及び貯蔵品	13,410	15,291
その他	957,289	826,493
貸倒引当金	△4,666	△4,121
流動資産合計	11,086,175	10,706,319
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	4,509,096	4,295,106
土地	2,957,671	3,155,418
その他(純額)	1,035,018	1,023,731
有形固定資産合計	8,501,786	8,474,257
無形固定資産		
のれん	108,731	107,262
その他	84,302	81,885
無形固定資産合計	193,034	189,147
投資その他の資産		
その他	523,378	517,378
貸倒引当金	△16,005	△16,489
投資その他の資産合計	507,373	500,889
固定資産合計	9,202,194	9,164,293
資産合計	20,288,370	19,870,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,986	608,539
短期借入金	910,000	820,000
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
リース債務	8,417,686	8,194,759
未払法人税等	299,188	109,855
賞与引当金	74,703	8,428
その他	876,258	1,031,813
流動負債合計	11,238,822	10,789,396
固定負債		
リース債務	2,614,701	2,482,921
役員退職慰労引当金	26,740	27,244
資産除去債務	18,061	18,129
その他	40,779	39,808
固定負債合計	2,700,282	2,568,103
負債合計	13,939,104	13,357,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	3,170,282	3,270,265
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	5,075,873	5,175,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,567	18,564
為替換算調整勘定	△8,294	△6,600
その他の包括利益累計額合計	14,273	11,963
非支配株主持分	1,259,119	1,325,292
純資産合計	6,349,265	6,513,112
負債純資産合計	20,288,370	19,870,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,156,981	4,555,079
売上原価	3,130,202	3,435,343
売上総利益	1,026,779	1,119,735
販売費及び一般管理費	776,525	791,223
営業利益	250,254	328,511
営業外収益		
受取利息	3,083	3,041
受取配当金	5,163	3,647
為替差益	—	337
投資有価証券償還益	4,151	2,444
その他	2,964	1,516
営業外収益合計	15,362	10,986
営業外費用		
支払利息	22,905	23,803
為替差損	5,330	—
その他	2,473	437
営業外費用合計	30,708	24,241
経常利益	234,908	315,256
特別利益		
投資有価証券売却益	269	424
特別利益合計	269	424
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	1,191	46
特別損失合計	1,199	46
税金等調整前四半期純利益	233,978	315,634
法人税、住民税及び事業税	65,033	107,132
法人税等調整額	20,705	3,366
法人税等合計	85,739	110,498
四半期純利益	148,239	205,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	54,175	66,337
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,063	138,799



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	148,239	205,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639	△4,166
為替換算調整勘定	△2,951	1,693
その他の包括利益合計	△2,312	△2,473
四半期包括利益	145,926	202,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,702	136,489
非支配株主に係る四半期包括利益	54,224	66,173

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	233,978	315,634
減価償却費	546,564	583,608
のれん償却額	1,716	1,728
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△995	1,049
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△42,541	△66,274
受取利息及び受取配当金	△8,246	△6,688
支払利息	22,905	23,803
為替差損益 (△は益)	1,071	△537
固定資産売却損益 (△は益)	7	—
固定資産除却損	1,191	46
投資有価証券売却損益 (△は益)	△269	△424
売上債権の増減額 (△は増加)	120,061	57,433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△81,747	47,171
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,063	△41,253
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△78,946	89,502
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△9,354	17,216
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	130,837	197,904
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	894	163
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	4,927	175
その他	891	717
小計	873,009	1,220,976
利息及び配当金の受取額	8,256	6,700
利息の支払額	△22,822	△23,721
法人税等の支払額	△339,058	△296,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	519,385	907,332
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△94,332	△283,806
無形固定資産の取得による支出	△184	△8,713
投資有価証券の売却による収入	561	—
貸付けによる支出	△291	△326
貸付金の回収による収入	7,551	2,923
敷金及び保証金の差入による支出	△2,642	△4,971
敷金及び保証金の回収による収入	2,915	8,456
その他	△17,326	△4,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,748	△290,895
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	320,000	△90,000
長期借入金の返済による支出	△60,296	—
配当金の支払額	△35,564	△32,429
リース債務の返済による支出	△603,752	△691,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379,612	△813,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,344	703
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,679	△196,622
現金及び現金同等物の期首残高	675,099	814,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	709,779	618,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,746,085	1,528,900	881,996	4,156,981	—	4,156,981
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,527	76,367	—	77,894	△77,894	—
計	1,747,612	1,605,267	881,996	4,234,876	△77,894	4,156,981
セグメント利益	50,686	190,895	13,821	255,403	△5,149	250,254

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,149千円には、のれん償却額△1,716千円、棚卸資産の調整額△3,433千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,977,947	1,702,101	875,030	4,555,079	—	4,555,079
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,313	84,080	—	86,394	△86,394	—
計	1,980,261	1,786,182	875,030	4,641,473	△86,394	4,555,079
セグメント利益	98,061	221,093	9,228	328,384	127	328,511

(注) 1. セグメント利益の調整額127千円には、のれん償却額△1,728千円、棚卸資産の調整額1,255千円、セグメント間取引消去600千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。